

テーマ

“ 気づき、学び、考える ”

目標

「気づき、学び、考える」ことを、「とみきた塾」のクラブ活動において実践。

< 今年度の取組紹介 >

新規事業として「とみきた芸術祭」を開催。

地域の恵まれた環境と文化的な背景を考え、地域の人を引き寄せることを考えた結果、地域に住む若い芸術家を支援し、演奏の場を提供し学校を中心に地域が集える内容で考えました。

場所は、奈良学園大学・登美ヶ丘キャンパスで奈良市長を初め100人を超す多くの方が参加されました。後援は4新聞社・奈良新聞で、新聞にも取り上げられ事業PRの効果は十分ありました。

教育協議会が行っている事業はすべて、当教育協議会が企画し実行したものです。「とみきた塾」などは子どもや地域の声聞きながら、具体化して現在の姿になりました。絶えず、内容はリニューアルしながら進めており変化しています。



< 今年度のまとめ >

- ・ いろんな活動を行いたい人材が不足しており、これが最大の課題である。
- ・ 人材が揃えばこの事業はもっと活動できる。
- ・ 「ひつじの放牧」や「とみきた塾」が生徒や地域の人々に浸透してきた。
- ・ 事業の広報PRは進み、いろんなところから声が掛かるようになってきた。
- ・ 学校を中心に、諸団体との連携が進みつつある。

< 来年度に向けて >

- ・ 来年度は、新規取組として学校行事のIT化を進める。
行事アプリの最大手企業と提携し、日本初の教育行事を中心としたアプリを開発。
- ・ 読売新聞と提携し、奈良支局長が委員に就任し、今後の展開を考える。
- ・ ひつじの取組を大学と共同研究を進める。

テーマ

地域を大切にし、笑顔あふれる明るい学校

目標

地域の大人から学び、その知恵を生かし自分らしさを発揮する

今年度の取組紹介

学校と地域とより深く連携していくために、昨年度に続き、生徒会本部役員との打合せを行うなかで、今年度の生徒会が目指す取組を理解していただきながら具体的な活動と支援をお願いしました。特に「美しい環境の中で爽やかなあいさつ」では、地域の人たちと共に花壇の整備をし、花植えのアドバイスもいただきながら一緒に環境整備を行いました。また、防災教育推進事業の炊き出し訓練では、野菜の収穫は、もちろんのこと、ハイゼックスを使った米炊きや非常食の仕分け作業を一緒に行ってくれたことで災害時の非常食の段取りやそれらに関わる苦労が体験できたことはよい経験になりました。さらに災害時に自分たちが取るべき行動の練習にもつながったと思います。生徒会を始め学校の様々な取組や理解が広まりつつ小中高のつながりもより深くなり合同募金活動や合同挨拶、ボランティア清掃などの活動機会も増えた年度でもありました。この取組は、地域にも知れわたり、本校区に於いても有意義な活動として受け止められており、地域の連携事業として学校活動の理解につながっているところです。



今年度のまとめ

地域のつながりを深めるため、防災教育推進事業に力を入れており今年度は、新たに赤十字社の講演会を取り入れました。被災時の行動を学び、地域の方たちと一緒に訓練をしたことが子どもたちのボランティアに対する心構えに変化が見られ、校内の美化活動にも生かされています。地域の大人から学ぶことの大切さが理解され、自分たちでできることの一つに地元の清掃活動を計画することなど、地域に出向き大人と関わることでつながりを活性させ、その中で果たすべき自分たちの役割と責任を理解してくれているようです。

来年度に向けて

小中連携と中高のつながりを深めつつ、地域の中でできることの活動内容を充実させ本校区の学校ブランド力を高めていきたいと考えています。また、学校活動に幅広い年齢層の方々に参加を求め、新たな交流と理解を求めていきたいと考えます。

テーマ

地域で子どもを育てる 子どもで地域がつながる

目標

地域やなかまと共に育む「登美っ子」の育成

今年度の取組紹介

《体験学習事業（ゲストティーチャーによる授業）/ふれあい事業》

◆お茶づくり体験 / 奈良筆作り体験 / 読み聞かせボランティア【おはなしの森】/

獣医師によるいのちの授業～いきものといっしょ / 絵本作家さんの話 等

さまざまな体験授業を実施してきました。児童たちは初めての体験でその楽しさや難しさを知り、また、ふれあいや体験を通じて、「命」の尊厳を学んでいます。さらに伝統ある仕事に取り組んでおられる方の思いなどを学び、これからの学校生活などに生かしていくことができる取り組みでした。



《環境整備活動事業》

◆通学路清掃、花壇整備、

保護者の方や学校近隣の方に学校環境の整備を進めていただいています。特に花壇整備をしていただくことで、その様子を見ている児童も多く、そのことで働く（ボランティア）ことや環境整備の大切さを知る良い機会になっています。



今年度のまとめ

子どもたちは、日頃体験することのできないお茶作り、奈良筆作りなど 様々な学習を通して多くの事を学びました。また、ふれあい学習や体験学習での人との関わりや命の大切さを学びました。多くの「人・もの・こと」が生活の中に関わっている大切なことであり、これからも「地域で育っている心豊かな登美っ子」を意識させることができる貴重な学習や体験であったと思いました。

来年度に向けて

学年に応じた様々な体験学習や行事等を通じて、今後ももっと保護者の方や地域の方々と連携を深め、さらなる交流・繋がりをもつことにより、心豊かな登美っ子の育成を目指していきたいと考えます。

テーマ**学校が好き、夢をもち、地域とともに輝ける東登美っ子****目標**

- 地域の教育力を生かした体験活動を充実させる。
- 恵まれた自然環境での環境整備や栽培学習を深める。
- 学校と地域力による読書推進活動を充実させる。

今年度の取組紹介

○読書活動推進事業（お話の会）

読書推進活動は朝・昼読書、お話の会、図書整備活動の3つの活動を中心に進めてまいりました。その中でも「お話の会」は年3回の全校活動として、しっかりと根付いてきました。子どもたちに読ませたい良書を選定し、読み聞かせをしていただきますが、子どもたちは目をキラキラさせながら最後まで集中して聴いていました。

**○環境整備事業**

学校の広大な敷地を生かして、花いっぱい、緑いっぱいの素晴らしい環境づくりに取り組んでいます。中庭にある東登美ガーデンの整備をはじめ、校内各所にもボランティアさんたちが定期的に花を飾ってくれています。また、地域の方々の協力を頂きながら学校周辺の環境整備に努めています。

○体験学習事業（6年 茶道体験）

6年生の体験学習事業として茶道体験を行いました。茶道の簡単な歴史や作法を学びながら、相手にもてなしの心をもってお茶をふるまいます。ピリッとした緊張感と静けさの中で行われる行事は卒業前に大事な儀式の一つになっています。



今年度のまとめ

- 読書活動推進事業は大変充実した活動が送れました。読み聞かせ活動等の取り組みが、子どもたちのコミュニケーション能力の向上にも大きく役立っています。
- 環境整備事業も子どもたちの中にしっかりと根付き、進んで栽培活動に取り組む児童も数多く見られました。また、地域の方々のご協力のおかげで学校の様々な環境整備が進められ、子どもたちの安全な学校生活を支えています。
- 各学年の体験学習事業は、様々な体験・経験の少ない児童にとって多くの人たちと交流できる貴重な機会となりました。

来年度に向けて

- 地域に根付いてきた取り組みも多く、次年度以降も継続、推進の強化を目標に事業を進めていきたいと考えています。また、マンネリ化しないために新企画を組み合わせながら内容を充実させていきたいと思っています。

テーマ

わくわく・どきどき・夢いっぱい幼稚園**―地域で子どもを育てる 子どもで地域がつながる―**

目標

- 温かい人間関係の中で、友達と試したり工夫したりしながら、意欲的に活動できる環境や援助を工夫する。
- 健康で安全な生活や社会生活に必要な態度を育成する。
- 家庭・地域との連携を深め、学びや生活をつなげ、豊かな感動体験が積み重ねられるよう連携の工夫に努める。

○ 子育て支援事業の充実

保育終了後の時間を活用し園児が地域の方とふれあえる場として取り組んできました。始めは、緊張している様子が伺えましたが、地域の方に遊んでもらったり優しく声をかけてもらったりするうちに自然と名前を覚え、親しみを感じるようになっていきました。地域の方が来てくださる日を楽しみにする子どもたちの姿が見られるようになり、地域の方に自分たちで育てた玉ねぎでカレーをつくり食べていただこうと子どもたちと計画しました。パーティーに招待し、感謝の気持ちを伝えました。この子育て支援をきっかけに、近くのお店や施設で地域の方が子どもたちに出会ったときに声をかけていただくことになりました。地域の方の温かいまなざしが子どもたちの成長にとっての貴重なものであると同時に、保護者にとっても子育てしやすい環境につながっていると感じています。子どもの学年を超えての地域・保護者のいい関係づくりにつなげられるようにしていけたらと思っています。



○ 未就園児クラスの保育内容の充実と広報の工夫

月2回程度行っている未就園児クラスでは、親子で好きな遊びをしたり、友達や在園児が遊んでいる姿を見たり真似たりできる機会づくりを計画・実施してきました。在園児と一緒に遊んだり、地域の方に絵本を読んでもらったり音楽遊びを教えてもらったりして、友達や地域の方と一緒に遊ぶ楽しさを味わえるようにしています。地域の掲示板にお知らせを貼らせてもらったことで参加者が増えました。

今年度のまとめ

○地域の方のご協力で、今年度子育て事業を行うことができました。地域の方の優しい声かけやかかわりが子どもたちの心の育ちに大きく影響したと感じています。子どもと大人のナナメの関係づくりを目標に進めてきましたが、地域の方と子どもたちの関係がこの一年を通してできてきたと感じています。引き続き、保護者と地域の方との関係を深められるよう進めていきたいと感じています。

○未就園児と在園児の交流や地域の方との交流を通して友達や身近な人と一緒に「なんだろう」「かかわってみよう」「やってみたらおもしろい」という気付きや体験ができました。自らかかわり、いろいろなことを考えたり試したり感動したりする心や態度が小学校以降の学びに繋がっていくと考えます。

来年度に向けて

- 保護者と地域、子どもたちと地域という関係が深まるように交流のあり方を探っていきたいです。
- 連携を深め、ボランティアの方が無理なく参加できるように体制づくりを進めていきたいです。
- 地域・家庭との連携を大切にしながら、子どもの遊びや生活の中で、豊かな感動体験が積み重ねられるように取り組んでいきたいです。

テーマ

ふれあい いっぱい 楽しい幼稚園

目標

子育て支援の拠点として開かれた幼稚園作りを目指す。

今年度の取組紹介

☆グランドゴルフ

コーディネーターさんから紹介していただいた地域で活動されているグランドゴルフ「つばき会」の皆さんに幼稚園に来ていただき、グランドゴルフを楽しみました。やさしく一人一人に教えていただいたので、最初はうまく打つことができませんでしたが、「おじちゃん、これでいいの」と話をしながらだんだん強くボールを打つことが出来るようになりました。フリー参観でお家の方も参加されて一緒に楽しむことができました。

【グランドゴルフ】



☆お話広場

今年度から地域の方もお話広場のメンバーに加わっていただきました。子ども達の様子を見ながら手遊びや読み聞かせ、素話などをしていただき、園児はお話や絵本がさらに好きになりました。

☆小学校との交流

今年度は、新たに5歳児が作った招待状を校長先生に届けました。また、11月より5年生との交流も始めました。最初は緊張や恥ずかしさがありましたが、回数を重ねるにつれて園児からも声をかけ、笑顔が増え、楽しく遊ぶようになりました。子ども達は、「今度はいつ」「お姉ちゃんの友だちがいたよ」「もう、帰るの。もっと遊びたい」という声が聞かれ交流を心待ちにするようになりました。特に5歳児は、小学校を身近に感じる機会になり、就学への期待を膨らませていました。

今年度のまとめ

- ・地域の方々との交流、未就園児とのふれあい、保護者の保育参加（フリー参観）、小中学校との交流などを通して豊かな心とたくましい体を育むことに取り組んできました。いろいろな機会に様々な人に園に来ていただき、子どもと一緒に活動する中で相互理解が深まり、子ども達をはじめ保護者や保育者も豊かな経験ができ、いろいろな学びにつながりました。地域の方に園に来ていただいてグランドゴルフなどの新しい経験もでき、地域とのつながりも広がりました。
- ・今年は特に小学校との交流を深めました。5年生との交流ではやさしいお兄さん、お姉さんと接し、「もっと遊びたい」と関わりを楽しみにする姿が見られました。

来年度に向けて

- ・ゲストティーチャーをはじめとする地域の方々とのふれあいをフリー参観やホームページ等によってもっと保護者に知らせていき、地域の活動に関心を持ってもらいたいです。
- ・一年間を通して計画的に活動を進め、地域・家庭・園が協力して地域に育つ子どもの育成のための内容の充実を図っていきたいと思います。